



小学校 家庭科

重点1 育成する資質・能力を明確にし、指導と評価の一体化を図る 目標1

- 学習指導要領に示された目標及び内容、地域や学校及び児童の実態等を踏まえ、児童に育成する資質・能力を明確にしている。
- 生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成するために、自分の生活と結びつけて学習できるように、より身近な題材を設定し、学習計画を作成している。
- 学習計画を作成する際、次の点に留意している。
 - ・第5学年の最初に、学習の見通しを持たせるためのガイダンスを位置づける。
 - ・「家族・家庭生活についての課題と実践」をいつ、どのような内容と関連させて学習するのかを考慮して指導計画を作成する。
 - ・調理及び製作の実習題材は、指定された題材を含め、系統的に学ぶ題材になるように配慮する。
 - ・中学校の指導事項との系統性や他教科等との関連を意識している。
- 目標及び内容に則した指導と評価の計画を立てている。その際、評価規準を踏まえ、評価場面や評価方法を適切に設定している。
- 学習カード、計画・記録表、ポートフォリオ、作品(写真)等、多様な評価資料を活用して学習過程や成果を多面的に評価し、児童の学習改善、教師の指導改善に生かすよう努めている。

【ポイント】

題材を構成する際には、基本的な教材で習得した基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用することを通して、児童が充実感や達成感を味わうことができるよう教材を工夫しましょう。

重点2 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善 目標1 目標2 目標4

- 自ら問題を見いだして課題を設定し、解決の方策を探り、計画を立てて実践するという問題解決的な学習を取り入れるとともに、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができる学習場面を設定している。
- 衣食住など生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解する学習活動や、自分の生活における課題を解決するために言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動を充実させている。
- ICTを積極的に活用し、学習の効果を高めている。
- 実践的・体験的な学習活動を充実させている。その際、児童の発達段階や学習のねらいを考慮するとともに、実習、観察、実験、体験など、それぞれの特徴を生かした適切な活動を設定している。
- 家庭や地域と積極的に連携している。
- 実験・実習を行うにあたっては安全管理への配慮、事故防止の指導を徹底している。食物アレルギーへの対応や家庭のプライバシーにも十分配慮している。

【ポイント】

学習した内容を実際の生活に生かす場面を設定し、児童が、自分の生活が家庭や地域と深く関わっていることを認識したり、自分の成長を自覚して実践する喜びに気付いたりすることができる活動を取り入れましょう。

中学校 技術・家庭科（家庭分野）

重点1 育成する資質・能力を明確にし、指導と評価の一体化を図る 目標1

- 学習指導要領に示された目標及び内容、地域や学校及び生徒の実態等を踏まえ、生徒に育成する資質・能力を明確にしている。
- よりよい生活を営むために生活を工夫し創造する資質・能力を育成するために、履修の順序や配当する時間数、具体的な指導内容を配列して、題材を適切に構成し、学習計画を作成している。
- 学習計画を作成する際、次の点に留意している。
 - ・第1学年の最初に、学習の見通しを持たせるためのガイダンスを位置付ける。
 - ・「生活の課題と実践」については、生徒の興味・関心や学校、地域の実態に応じて、選択項目はどれにするか、どの内容と関連付けて扱うか、いくつ扱うかを計画する。その際、家庭や地域などで実践的な活動を行うことができるよう配慮する。
 - ・小学校や高等学校の指導事項との系統性、他教科等との関連を意識する。
- 目標及び内容に則した指導と評価の計画を立てている。その際、評価規準を踏まえ、評価場面や評価方法を適切に設定している。
- 学習カード、計画・記録表、ポートフォリオ、作品(写真)等、多様な評価資料を活用して学習過程や成果を多面的に評価し、生徒の学習改善、教師の指導改善に生かすよう努めている。

【ポイント】

指導すべき内容に漏れがないよう、指導内容確認表等を用いて確認し、3学年間を見通した学習計画を作成しましょう。学習評価については、『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）を読んで、理解を深めましょう。

重点2 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善 目標1 目標2 目標4

- 自ら問題を見いだして課題を設定し、解決の方策を探り、計画を立てて実践するという問題解決的な学習を取り入れるとともに、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができる学習場面を設定している。
- 衣食住に関する実習等の結果を整理し考察したり、言葉や図表、概念などを用いて考えたり説明したりするなどの学習活動の充実を図っている。
- ICTを積極的に活用し、学習の効果を高めている。
- 実践的・体験的な学習活動を充実させている。
- 家庭や地域社会、企業などと積極的に連携している。
- 実験・実習を行うにあたっては安全管理への配慮、事故防止の指導を徹底している。食物アレルギーへの対応や家庭のプライバシーにも十分配慮している。

【ポイント】

学習した内容を実際の生活に生かす場面を設定し、生徒が、自分の生活が家庭や地域社会と深く関わっていることを認識したり、自分が社会に参画し貢献できる存在であることに気付いたりすることができる活動を取り入れましょう。

高等学校 家庭科（共通家庭）

重点1 育成する資質・能力を明確にし、指導と評価の一体化を図る 目標1

- 学習指導要領に示された目標及び内容、地域や学校及び生徒の実態等を踏まえ、生徒に育成する資質・能力を明確にしている。
- 生涯を見通して主体的に生活を創造する資質・能力を育成するために、題材など内容や時間のまとまりを適切に構成し、学習計画を作成している。
- 学習計画を作成する際、次の点に留意している。
 - ・内容A(1)生涯の生活設計については、科目の導入として扱い、また内容A～Cと関連付けて科目のまとめとして扱う。
 - ・ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動を学習内容と関連を図り、年間指導計画に位置付ける。
 - ・令和4年4月1日から成年年齢が引き下げられたことを踏まえ、消費生活に関わる内容を一層充実させる。
 - ・小学校・中学校の指導事項との連続性や系統性や他教科との関連を意識する。
- 目標及び内容に則した指導と評価の計画を立てている。その際、評価規準を踏まえ、評価場面や評価方法を適切に設定している。
- 学習カード、計画・記録表、ポートフォリオ、作品(写真)等、学習過程や成果を多面的に評価し、生徒の学習改善、教師の指導改善に生かすよう努めている。

【ポイント】

学習評価の進め方については、『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）を読んで、理解を深めましょう。

重点2 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善 目標1 目標2 目標4

- 生活の中で活用する視点を明確にして、実践的・体験的な学習を行い、家庭生活の様々な事象の原理・原則を科学的に理解させている。
- 自ら問題を見いだして課題を設定し、解決の方策を探り、計画を立てて実践するという問題解決的な学習を取り入れるとともに、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができる学習場面を設定している。
- 子どもや高齢者など様々な人々と触れ合い、他者と関わる力を高める活動、衣食住などの生活における様々な事象を言葉や概念などを用いて考察する活動等、思考力、判断力、表現力等の育成に資する学習活動を充実させている。
- ICTを積極的に活用し、学習の効果を高めている。
- 地域の福祉施設や消費者センター等との関係機関、専門的知識を有する外部人材等と連携している。
- 実験・実習を行うにあたっては安全管理への配慮、事故防止の指導を徹底している。食物アレルギーへの対応や校外の実習におけるプライバシーにも十分配慮している。

【ポイント】

学習した内容を実際の生活や地域社会で生かす場面を設定し、生徒が、よりよい社会の構築等のために自分が社会に参画し貢献できる存在であることを認識することができる活動を取り入れましょう。

小・中・高を通じて身に付けさせたい 資質・能力（目指す子どもの姿） 目標3

- ◎ 自立した生活者に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての科学的な理解と技能を身に付けている。
- ◎ 家族・家庭や社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して解決することができる。
- ◎ 相互に支え合う社会の構築に向けて、主体的に地域社会に参画し、家庭や地域の生活を創造しようとする実践的な態度を身に付けている。

研修等について

○ 研修

- * ゼロから学びたい先生のための教科教育研修（中学校免許外教科：家庭編）
5月1日（金）浜田教育センター
・初めて免許外で家庭分野を担当して頂く方を対象とした必修研修です。
- * 小学校家庭科教育講座
～学習指導案でつながる「理論」と「実践」 衣生活を取り口に家庭科のねらいを再発見！～
10月30日（金）島根県教育センター
※詳細は実施要項でご確認ください。

○ 参考資料

- * 文部科学省ホームページ
・ 学習指導要領解説
・ 学習指導要領に関するQ&A
・ StuDX Style
- * 国立教育政策研究所ホームページ
・ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料



<https://www.nier.go.jp/kaiatsu/shidouairyu.html>

- * NITS（独立行政法人教職員支援機構）ホームページ
・ 学習指導要領シリーズ
改訂のポイント
（小家 No. 10）（中家 No. 21）
学習指導要領に対応した学習評価
（小家 No. 43）（中家 No. 50）
学習指導要領の改訂のポイントと学習評価
（高家：共通 No. 60，専門 No. 67）

<https://www.nits.go.jp/materials/youryou/>



- * 消費者教育ポータルサイト
<https://www.kportal.caa.go.jp/>

